

台湾の彰化県二水郷から来町
津別町とさまざまな分野で交流を

5月17日、18日の両日、台湾の中部にある彰化県二水郷から許文耀郷長（町長）ら5人の訪問団が津別町を訪れ、丸玉産業株式会社や山田牧場などを視察しながら交流を深めました。今回の訪問は駐日台北経済文化代表事務所郭仲熙次長の部下（張淑玲さん）が10年前、佐藤多一町長の家にホームステイをした縁で実現しました。



山田牧場で有機酪農の説明を受ける許文耀さん(左から2人目)

初日、佐藤町長の案内で山田牧場の牛舎やゆづ水施設を視察した許郷長は「山田さんの有機酪農に対する取り組みに感服しました」と感想を述べました。

許郷長は「田園風景が台湾に似ているので親しみが持てました。観光や文化などさまざまな分野で津別町と交流を深めていきたいです」と話してくれました。2日目は口マンス製菓と津別中学校を視察し、離別しました。

80人が参加した町民植樹祭
400本のカラマツに願いを込めて



5月13日、津別町と網走南部森林管理署の主催による町民植樹祭が、各事業所の少年団など約80人の参加により行われました。

今回の植樹は町有林で行われ、参加者は網走東部森づくりセンターの職員に植樹方法の指導を受けながら、カラマツの苗木（3年生）400本を斜面に1本ずつ丁寧に植えました。最後に町長や8人の各代表が記念標柱を建立しました。

今回植樹したカラマツの苗木は今後手入れされ、50年後に伐採される予定です。

townics

まちのわだい

新鮮野菜と花の苗を求め町民で賑わう
ベジタブル240が10年目のオープン

今年で10年目を迎えたベジタブル240（会員15人）が5月15日にオープンしました。共和の直売所には朝早くから多く町民が集まり、にらやほうれん草、チンゲン菜などの取れたて野菜やペコニアやマリーゴールドなどの苗を買い求めて行きました。店頭には並んだ商品は市価よりも安く、中にはダンボールでまとめ買いする人も見られました。



野菜を取りそろえて皆さんのご来店をお待ちしています」と話してくれました。ベジタブル240の営業は毎週火曜日の土曜日の午前7時から午後5時までです。

火災をなくし安心安全なまちを
防火パレードに120人が参加

4月21日、春の火災予防運動にあわせ、津別消防署の防火パレードが行われました。消防署前で行われた出発式では佐藤多一町長が「火災の未然防止を進め、安心安全な町にしましょう」と挨拶。

防火パレードはプラカードを持った少年消防クラブを先頭に消防団員、自治会、青葉幼稚園の120人と消防車7台が列をつくり、「火の取り扱いには十分注意しましょう」と地域住民に呼びかけました。



ビデオを見ながら楽しく学ぶ津別小学校で交通安全教室開催

5月8日、津別小学校で交通事故を未然に防ぎ、安全意識を高めることを目的に交通安全教室が開催されました。

この日はグラウンド状態が悪いため、自転車練習などは中止されましたが、体育館で千歳博幸所長の安全講話が行われました。

千歳所長は「道路の右側を歩く」「信号機のある道路を歩く」「車の影から飛び出さない」など交通ルールを話しました。また、「知らない人の車に乗らない」など不審者対策についても児童たちに注意を呼びかけました。

最後に「孫悟空の交通ルール」のビデオを見ながら横断歩道の渡り方など楽しく学びました。

第12回でこいまつり開催
みぞれが降ってもライブは楽しいね

5月20日、第12回でこいまつりが開催されました。当日はあいにくの雨模様のためすべての行事が施設内の開催となりましたが、津別中学校吹奏楽部の演奏やミュージカル、マジックなどを楽しみました。

また、3月にでこいまつりでコンサートを開いた、いなむら一志さんが息子の大さんと一緒にライブを行い、2人は息のあった演奏で「イマジン」や「ハーモニー」など世界平和の大切さを語りながらアンコールを含む8曲を熱唱し、大きな拍手が送られていました。

玄関前には焼き鳥や焼きそばなどの屋台がでて、会場を訪れた方はおおいそうにほおばりながらおまつりを楽しんでいました。

いなむら一志さんと大さんのライブ&トーク



子どもミュージカル「ももんがモモちゃん」

みなさん上手にできましたね
ミスナラ倶楽部で木工教室

4月25日、中央公民館で寿大学の入学式と始業式が行われ、新入生5人、在校生138人が新たなスタートを切りました。

入学式では阿部博道教育長（寿大学学長）と吉江利男自治会長より歓迎の挨拶の後、入学生一人一人に学生証が交付され、学生たちは緊張した面持ちで受け取っていました。続いて、今年の入学生を代表し、活潑の手塚宏さんが「学習とクラブ活動を通して、うるおいと思いやりのある心を育て充実した学校生活を送ります」と誓いの言葉を述べました。



寿大学に5人が入学
在校生138人が温かく歓迎



5月20日、森林学習展示館でミスナラ倶楽部のみなさんが木工教室を楽しみました。ミスナラ倶楽部とは閉じこもりや認知症を予防する教室で毎週津別小学校で行われています。

木工教室は桜の開花時期に実施され、バスから21世紀の森の桜を楽しむことも好評です。

この日の参加者は9人で管理人の技術指導を受けながらログハウスや木のおもちゃづくりなどに挑戦しました。昨年も参加した西4条の水上郁子さんは「木工体験は子どもにも帰ったよつでとても楽しいです」と話してくれました。